

2 階病棟（療養）

病棟の特徴

在宅に向け、もう少しリハビリテーションが必要な患者さんや、急性期の症状が安定し、在宅に戻る準備期間が必要な患者さんに療養病棟で過ごしていただいています。医療チーム全体で情報を共有し、患者さん・ご家族の皆様に合ったケアプランを作成し、日々の看護や介護に活かしています。また、退院後も安心した生活が送れるように、地域のケアマネージャーや訪問看護師と連携し拡大カンファレンスを行っています。入院中は、季節に合った行事やレクリエーション・嚥下体操などを行ない、生活のリズムを整え合併症予防に努めています。スタッフは、みんな明るく活気ある職場です。

私たちが大切にしていること

療養病棟は、症状は安定していますが、長期療養が必要な方が入院しています。患者さんが安全に快適な生活が送れるよう心掛けています。患者さん・ご家族の皆様が希望する退院に向けて、他の医療スタッフと協力し、患者さんに合った退院プランを提供できるようにしています。



3 階病棟（内科・眼科・小児科）

病棟の特徴

当病棟に入院している患者さんの平均年齢は 80 歳を越えています。入院後は、様々な治療や慣れない環境などにより、ADL の低下や認知症の悪化が考えられ、予防することが大変重要です。そのため、認知症認定看護師や看護相談室と連携して、早期離床を図るためにデイケアを取り入れ、患者さんの早期回復を目指しています。また、呼吸器疾患の患者さんが多く、当病棟勤務の慢性呼吸器疾患看護認定看護師の指導のもとケアを行なっています。そして、入院時から退院後の生活を考慮し、医師・看護師・理学療法士・薬剤師・栄養士・社会福祉士と連携をとり、退院支援を行っています。眼科においては、クリニカルパスを用いて他職種とのチーム医療を実践し、安心して療養して頂ける様に努めています。

私たちが大切にしていること

急な入院や、様々な治療により不安を抱える患者さん・ご家族の方々に対し、安心して入院生活が送れるように心掛けています。また、スタッフ一人一人が、それぞれの目標に向かい知識・技術の向上に励んでいます。



4階病棟（外科・整形外科・内科）

病棟の特徴

急性期・慢性期・周術期と幅広い看護を行っています。緊急入院がほとんどであり、急性期の治療に対応しています。高齢者の患者さんが多く、手術翌日より離床を図り合併症予防に努めています。そして、安心して在宅に戻れるよう、入院時より退院後の生活を見据えた退院支援を他職種と連携しながら行っています。また、2回/月のデイケアでは、患者さんと歌や運動ゲームをして一緒に楽しんでいます。混合病棟なので、様々な疾患の看護が行え、幅広い知識や技術を身につけることができます。手術や緊急入院が多く忙しい病棟ですが、みんなで協力し、患者さんとご家族が安心できる様な看護の提供を心掛けています。

私たちが大切にしていること

患者さんに、寄り添い思いやりある看護を提供していくことです。病棟スタッフ一丸となってより良い看護、職場づくりをめざして前進して行きます。



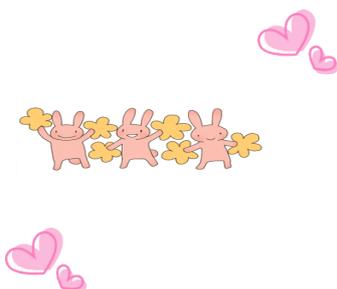
看護相談室

看護相談室の特徴

患者さんやご家族が抱えている不安や悩みについて、看護師が共に考え、解決へのお手伝いをさせていただきます。

私たちが大切にしていること

話しをすることで、心が少し軽く少し楽になりますように…



医療連携室

医療連携室の特徴

医療・介護は、病院内だけでは完結できません。医療福祉相談・医療連携室では、入院・通院中の患者さん及びご家族からの相談や、行政・院内をはじめ院外への窓口として多岐にわたる業務を行っています。また、入院早期より、退院後を見据えた問題点について多職種と話し合い、地域包括センターや福祉事業所と連携をとり、退院後の生活をサポートできるように努めています。患者さん・ご家族が安心して入院・在宅生活が送れるように、医療福祉相談室・医療連携室が窓口となり、他医療機関と連携をとりながら支援させていただいています。

私たちが大切にしていること

患者さん・ご家族の気持ちに寄り添い、安心して入院・在宅生活が送ることができるよう、院内外との円滑な連携を心掛けています。



透析室

透析室の特徴

当院の透析室では、透析技術認定士2名が中心となり、スタッフへの指導を行なっています。院内外の研修にも積極的に参加し、知識と技術の向上に努め、安全で質の高い透析医療・看護を目指しています。また、災害支援看護師が中心となり、災害時マニュアルや物品の整備を行っています。今年も、透析中の患者さんの避難シミュレーションの実施や、災害に関する看護研究に取り組むなど、災害時の対応にも力を入れています。透析看護は、治療を生活の一部と捉え、1日おきに來られる患者さんの心と身体に寄り添い、話しやすい雰囲気をつくるように心掛けています。また、毎月発行されるしおり「透析食のひろば」（栄養管理科提供）を利用し、日々の食事を豊かにする工夫を一緒に考えるなど、患者さんに寄り添った看護を提供しています。

私たちが大切にしていること

看護師と臨床工学技士が、それぞれの専門性を高め、お互いの良いところを提供し合い、何でも話し合える関係を作ることを目指しています。そして患者さんが安心して治療を受けることができる明るい透析室でありたいと思っています。



外来

外来の特徴

外来の診療補助や訪問看護、検査業務、救急外来業務を行っています。外来は約 300 名/日の方が診療に訪れます。南那須地区は高齢化が 30%を超えており 2 次救急指定病院は当院のみで、1 次救急も兼ねているため当地区にとってはなくてはならない病院です。高齢化が進む中約 8 割が予約外入院であるのも特徴です。外来の役割として、疾患をかかえ退院される患者さんが少しでも長く在宅で療養できるように、フットケア外来、ストマ外来、在宅酸素療養患者看護、訪問看護を通してケアや指導を実施しています。また、職員は子育て中のママが多く、それぞれのワークライフバランスを大切にしながら働ける職場作りを目指しており、希望した時間で働く非常勤職員の満足に繋がっています。

私たちが大切にしていること

今年度は「働き続けられる職場作り」を目標に、患者・家族、スタッフに対する思いやりの気持ちを大切にしています。また目標を持って自己研鑽しています。



手術室・中材

手術室・中材の特徴

- 各科の手術に迅速で柔軟に対応しています。
- スタッフ同志が、気持ち良く働ける環境作りを目指しています。
- 得意分野の開拓とスキルアップを行っています。

私たちが大切にしていること

安全・安楽・安心して手術が受けられる事を心掛けています。手術を受けられる前日に、術前訪問を行い患者さんと顔の見える関係を大切にしています。

